



自主防災会 に参加しましょう

いざという時、最も身近にいるのは
ご家族やご近所の方々です。
身近な自主防災会の活動に参加し、
地域の防災力を高めて災害に備えましょう。



災害はいつ、どこで、どのぐらいの規模で発生するかわかりません。実際に災害が発生したとき、皆さんは無事でいられるでしょうか。

過去の大規模地震では、道路や通信網などの主要インフラがダメージを受け、公的機関の機能が麻痺し、発災初動時に機能しなかった事例も報告されています。

自主防災会とは

自主防災会とは、「自分たちの地域は自分たちで守る。」を原則として、地域の方々が自発的に連携して、初期消火、避難誘導などの防災活動を行う団体のことです。

善通寺市でも自治会を主体に、平成17年度から平成21年度にかけて市内8地区で自主防災会が結成されており、皆さんの住む地区で活発に防災活動を実施しています。



自主防災会が行う平常時の活動

自主防災会は、災害が発生した場合、情報収集や伝達、初期消火、救出・救護、避難誘導、避難所運営（給食・給水、清掃等）など、幅広い活動を行います。

そのための平常時の活動として、市内自主防災会が実施している代表的な活動などには、次のようなものがあります。

1 災害について学ぶ

- 防災士の取得など、地域の防災リーダーの育成を推進
- 県や市等が開催する防災訓練・講演やリーダー研修への参加



2 地域の安全確認

- 避難場所、避難経路
- 消火栓、防火貯水槽
- 地域内の危険箇所



3 すまいの安全確認

- 住宅の耐震診断や耐震改修の啓発（補助制度あり）
- 家具類等の転倒防止対策の啓発（補助制度あり）



4 防災訓練の実施

年に1回程度、地区自主防災会で防災訓練や防災講演を実施

情報収集・伝達訓練

- 地域の被害情報を収集・整理する手順の確認
- 注意報、高齢者等避難、避難指示などの情報を地域のみなさんに伝達する手順を確認



初期消火訓練

- 消防機関と連携して消火器、バケツなどを使用して初期消火の手順を確認



避難訓練

- 避難方法の確認
- 災害時において支援が必要な者の避難手順を確かめ、訓練で確認



救出・救護訓練

- 応急手当の手順などを確認
- 消防機関と連携して、AED（自動体外式除細動器）等の救急救命用資機材の使用方法を確認

給食・給水訓練

- 避難所での給食・給水の手順を確認
- アルファ米等の防災備蓄食品を使った炊き出し訓練を実施



5 防災備蓄・資機材の管理

防災訓練等で使用する備蓄品や資機材を計画的に調達・備蓄し、定期的に管理を実施



災害への備え

1 連絡方法を確かめよう

地震、火災、風水害などが発生した場合に備えて、普段から家族全員で話し合い、連絡方法や役割分担などを確かめましょう。

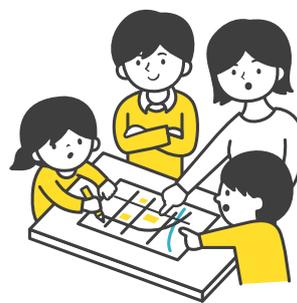
- 外出している家族との連絡方法の確認
 - 災害用伝言ダイヤル「171」の使い方の確認
 - 被災地以外に住む親戚や知人を中継地点にして連絡を取ることも考えましょう。
- ※市総合防災ハザードマップに添付している「マイ・タイムライン記入カード」を活用すると便利です。



171

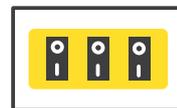
2 避難場所・避難経路を確かめよう

- 地域の避難場所を確認
- 避難経路は一つではなく複数の経路を確認
- 散歩のついでに下見をしておきましょう。



3 災害時の役割を確かめよう

- 高齢者や乳幼児を避難させる場合を想定して避難方法を確認
- 非常持出品を持ち出す物を確認
- ガス栓を閉め、ブレーカーを切る人を確かめましょう。



4 非常持出品を確かめよう

- 貴重品現金、預貯金通帳、印鑑、免許証、権利証書、健康保険証など
 - 非常食(アルファ米や缶詰、栄養補助食品等を3日分)、飲料水(500mlを3本程度)
- ※非常食等は賞味期限があるので定期的に食べて、新たに購入するという習慣をつけておきましょう。(ローリングストック)
- 応急医薬品ばんそうこう、胃腸薬、常備薬など
 - 生活用品衣類、タオル、ティッシュペーパー、軍手、雨具、生理用品、紙おむつなど
 - その他携帯ラジオ、懐中電灯、予備の電池など
- ※携帯用トイレ剤(防臭凝固剤)とビニール袋を用意しておくこと簡易トイレとなります。

